

RE:ception

AI受付アバターSaaS

— AI駆動開発プレゼンテーション —

30秒

受付時間

95%

満足度

60%

コスト削減

10,000件

月間処理

アジェンダ — 30分プレゼンテーション

01	完成イメージを一気に見せる	2分	企画書→スライド→動画→デモUIをテンポよく紹介
02	RE:ception とは	3分	AI受付アバターSaaSの概要とKPI
03	Agentの定義	5分	Chat → Tool Use → Agent の3段階と危険性
04	AISDD: Specで制御する	5分	AI Spec-Driven Development の解説
05	Spec駆動デモ	5分	1ファイル変更で全成果物が更新される体験
06	Remotion: コードが動画に	3分	プログラマブル動画生成の仕組み
07	デモUI: 受付体験	2分	AI受付アバターとの対話シミュレーション
08	3分チャレンジ	5分	今すぐ始められる3段階のハンズオン

RE:ception — AI受付アバター—SaaS

1

チェックイン

名前・用件を
自然言語で確認

2

FAQ応答

Wi-Fi・会議室等
に即座に回答

3

担当者呼出

Slack通知+
内線で自動連絡

4

ログ記録

全履歴を
自動タイムライン

30秒

平均受付時間
従来比75%短縮

95%

来訪者満足度
自然言語対話

60%

コスト削減
3名→1名体制

10,000件/月

処理能力
24h365d稼働

来訪者は人と話す感覚で受付完了。専任スタッフのコストを大幅に削減しつつ、来訪者体験を向上させます。

Agentの3段階 — Chat / Tool Use / Agent



Agentの危険性: 「曖昧さの増幅」

曖昧な指示でAgentを起動すると、間違った方向に全力疾走。大量の成果物が誤ったまま生成され、修正コストが膨大に。

AISDD — AI Spec-Driven Development

①	Spec作成	人間が要件をTypeScriptで定義	人間
②	AI確認	AIが整合性・網羅性をレビュー	AI
③	承認	人間が最終チェック・承認	人間
④	Agent実行	承認済みSpecに基づき自動生成	Agent
⑤	成果物生成	企画書・スライド・動画・デモUI	自動
Specを変更するだけで → 全成果物が自動追従 手動更新・ドキュメントの陳腐化を根本的に解消			

Spec駆動デモ — 1ファイル変更で全成果物が更新

Before: spec.ts

```
kpi: {  
  receptionTime: {  
    value: 30,  
    unit: "秒",  
    label: "平均受付時間"  
  },  
  satisfactionRate: {  
    value: 95,  
    unit: "%"  
  }  
}
```

After: spec.ts (変更後)

```
kpi: {  
  receptionTime: {  
    value: 15, // ← 変更!  
    unit: "秒",  
    label: "平均受付時間"  
  },  
  satisfactionRate: {  
    value: 98, // ← 変更!  
    unit: "%"  
  }  
}
```

↓ pnpm build ↓

Webページ

KPIバーの数值が更新

動画テロップ

Remotionが新値でレンダリング

企画書PDF

KPI表の数值が変更

デモUI

表示データが自動反映

Remotion — コードが動画になる

0〜7秒	タイトルカード spec.project.name	プロジェクト名がアニメーション表示
7〜14秒	フローカード 固定5ステップ	企画→スライド→動画→デモUIの生成フロー
14〜22秒	KPIテロップ spec.kpi	各KPI値がカウントアップアニメーション
22〜30秒	チャレンジ spec.challenges	3段階のチャレンジをテンポよく表示

```
// apps/video/src/compositions/KPIHighlight.tsx
import { spec } from "@aidd/shared";
const kpis = Object.values(spec.kpi);
// → spec.tsのKPI値が動画テロップに自動反映
```

今すぐ試そう — 3段階チャレンジ

Lv.0

3分

spec.tsのKPI値を変更してWebに反映

① spec.ts を開く → ② value: 30 を 15 に変更 → ③ pnpm build → ④ ブラウザで確認

Lv.1

10分

新セクションをspecに追加してビルド

① sections配列に新オブジェクトを追加 → ② pnpm build → ③ 本編ページに9番目のカードが表示

Lv.2

30分

Remotionで動画をレンダリング

① KPI値を変更 → ② pnpm video:render → ③ 新しいKPIテロップで動画が再生成される

社内で試せる題材 5つ

1

社内FAQ Bot

よくある質問をspec化して自動応答。人事・総務・IT部門の問い合わせを自動化。

2

議事録自動要約

会議の音声テキストから要約・アクションアイテムを自動抽出。

3

採用候補者スクリーニング

応募要件をspec化し、履歴書データとの自動マッチング。

4

社内ナレッジ検索

社内文書をベクトル化し、自然言語での横断検索を実現。

5

定型メール自動返信

問い合わせパターンをspec化し、テンプレート応答を自動生成。

それぞれ spec.ts を書くところから始めると、AISDD を体験できます

ご清聴ありがとうございました

Specを書くところから、始めてみませんか？

今日のまとめ

1. Agent は強力だが曖昧さを増幅する → Spec で制御する
2. spec.ts を変更するだけで全成果物が自動更新される
3. まず3分のチャレンジから始めてみよう